



# あやめ



文責：生徒指導主事 川崎幸司

## 生徒総会が開かれました！ 今年度スローガン “星紡（きぼう）”

5月25日（木）に、生徒総会が開かれました。

生徒総会に先立ち、前期学級役員（生徒）の任命式が行われました。呼名に対する返事（返事）の声も大きくはっきりしたもので、特にきっかけをつくってくれた1年生の返事がとても頼もしく聞こえました。どの学年も学級・学年のリーダーとしての活躍を期待せずにはいられないものでした。



総会では、冒頭に上田校長先生から「私たちは、自由に意見を交わすことができる現在の日本の民主主義を、この生徒総会の場で学んでいます。自由の保障のために、総会で決めたことには、それをやりきる責任や義務をしっかりと果たせるようにしましょう。」とお話をいただきました。

議事では、生徒会本部より今年の活動目標であるスローガン “星紡（きぼう）” が提示されました。

また、【重点項目 柱】を後述のように5つ掲げ、それぞれのプロジェクトの取り組みを全校で行っていくことを採択しました。



昨年度からの取り組み「無言清掃・2分前着席」を、取り組み期間だけでなく、いつでも意識を持ち続けられるように、引き続き継続することを確認しました。

さらに高いレベルを目指すために、それぞれの提案に対し、各学年・学級から活動の本質迫るような活発な質疑応答がなされました。今後の生徒会活動の充実を期待するに十分なものでした。

最後は、各委員会・部活動から活動目標と活動計画が報告されました。それぞれにこれまでの課題を踏まえ、年間を見通したもので、委員会活動・部活動にも協力して取り組むことに期待しています。



## ☆ 生徒会スローガン：星紡

【設定理由】～R5生徒総会資料より～ ☆

星紡には、一人ひとりの良さを全校で認め合って繋いでいき、今までとは違った令和5年度だけの櫛形中学校を創り上げていきたいという願いが込められています。



「星」は、すべて光り方や色が違います。生徒会は、この星の光をみなさん一人ひとりの個性と捉えました。「星」にはそんな一人ひとりの良さや考え方の違いを表す意味が込められています。

「紡」は訓読みで「つむぐ」と読みます。この言葉には、『想いを紡ぐ』『心を紡ぐ』『言葉を紡ぐ』など、「さまざまな物をより合わせ、一つのものを作り出す」という意味があります。

これらの意味を踏まえ、生徒会では、全校一人ひとりの個性が違うなかでも繋がりをもち、1つになれる学校を目指していきたいと考えています。

令和5年度の櫛中生でしか創り上げることができない櫛中にしていきます。Aim High～さらなる高みを目指して～、全校一丸となり、頑張っていきます。

### 【重点項目 柱】

- ① 学習 「日進月歩（にっしんげっぽ）」
- ② 和 「和気藹々（わきあいあい）」
- ③ 挨拶 「凡事徹底（ほんじてってい）」
- ④ 部活 「切磋琢磨（せつさたくま）」
- ⑤ 委員会 「進取果敢（しんしゃかかん）」

### ☆ 櫛形地区小中一貫校での取り組み ☆

#### < 無言行動をしよう >

…無言清掃・無言移動・無言待機…



# 「終日学校開放日」 & 「総体激励会」 おおぜいの参観をいただき、ありがとうございました

6月9日(金)は、終日学校開放日が行われました。保護者の皆様には、各教室において生徒たちの授業の様子を参観していただきました。前回5月8日(月)の授業参観は「地域ふれあい道徳」の授業の様子を参観していただきましたが、今回は終日授業の様子を参観していただきました。新年度がスタートして2か月半が経ち、生徒たちも新しい環境・メンバーに慣れた頃です。休み時間も含め、日常の生徒の動きやふれあいなども観ていただく機会となりました。今年度も、本校では[学び合い]と称した[生徒自身による協働学習]に取り組んでいます。生徒たちがそれぞれ授業で、課題に対して前向きに取り組んでいる様子が垣間見えたことでしょう。

続く6校時の時間帯には、6月13日(火)・15日(木)の2日間(競技によっては17日(土)までの3日間)にわたって開催される「中巨摩総合体育大会」と22日(木)の「中巨摩総体陸上競技の部」に向けての「激励会」が執り行われました。これは、生徒会本部主催の、大会に出場する選手を全校生徒でお互いに励ましあうものです。この激励会も多くの保護者の方々に参観していただきました。また、当日は橿形中に関わるOBの方々も来校されました。

激励会の冒頭、上田校長先生からは「プライドを持って戦ってもらいたい。負けないことは立派、負けに負けないことはなお立派。」と励ましの言葉がありました。続いて各部の選手からの「決意表明」。各部の個性が表れた発表だったと思います。さらに文化局からの激励、そして最後に、生徒会本部を中心とした全校生徒による「応援」が行われました。今年度の応援では、例年つないでいる【we are 橿形】【KSGT】に加え、60年前に確かに存在した【応援歌】を完全復活させる取り組みも行い、見事に力強く高らかに歌い上げました。

橿形地区の想いを共有し、歴史を紡ぎ、さらに新たな歴史につないでいく機会になりました。応援する側も応援される側も気持ちを一つにすることができたすばらしい激励会になっていたと思います。激励会が終わった後も、部活動の様子を熱心に見守る保護者の方々が多数いらっしゃいました。決意表明の中にも、部活動に思い切って打ち込める環境を作ってもらっていることへの感謝を述べる発表もありましたが、そのことを実感できる保護者の部活動参観の光景だったと思います。

学校開放日ということで、多くの保護者の方々に参観していただき本当にありがとうございました。選手や生徒たちにとって、大きな励みになったことと思います。今後も応援よろしくお祈りします。

## 応援歌にかける令和5年度生徒会の想い

生徒会本部は橿中応援歌の存在を知ったとき、胸を高鳴らせました。

これまで激励会では先輩方が繋いできた「we are 橿形」「KSGT」に、60年前の伝統を添えられるというのです。

50年間歌われてこなかった古い歌ですが、歌詞を見たとき、そこには確かに橿中の事が描かれていました。橿形山の麓で、夏に向けて新しい仲間と技を練る暑い日、春に向けて練習を積み重ねる寒い日。昔の先輩方の思いが熱く描かれていて、今の私達と同じような思いを抱えていたことがわかります。橿中の仲間を応援するのにこれほどピッタリな歌はないと思います。

作詞者・名取秀樹さん、作曲者・横内朝子さんにインタビューをさせていただいてお二人とも共通で、「橿中の選手を精一杯応援する」という想いを表す言葉を多くお話しくださいました。

私達がこの歌を歌うときはそういったことも意識しながら、仲間を思う気持ちを新たに歌いたいと思います。

しばらく歌われてこなかった橿中の伝統ある歌を、復活させ、想いを紡いでいくとともに、私達で新たな伝統を作り上げるという思いをこの応援歌に込めたいと思います。



1.  
山脈 清き 橿形に  
白亜の 校舎 映ゆる庭  
そびゆる いらか 橿中の  
われ等の 選手 今起てり

2.  
炎熱 もゆる 夏の日も  
北風 すさぶ 冬の日も  
ここ 橿形の グランドに  
ねりに ねりたる わが技を

3.  
あゝ 光栄の 旗のもと  
母校の ほまれ いや高く  
われ等の 友は 今起てり  
橿中 健児 意気高し

～応援歌の歌詞の意味～

- ※白亜の校舎…橿中の白い校舎
- ※映ゆる庭…校舎と調和して鮮やかに見える庭
- ※そびゆるいらか(麓)…瓦屋根が高く立っている様子
- ※炎熱…暑い夏
- ※ほまれ(誉)…橿中の誇り、名誉
- ※健児…血気さかんな若者
- ※意気高し…高い目標

